



1. 1つのさいころを投げるとき、1の目が出る確率は $\frac{1}{6}$ である。個の確率の意味を正しく説明しているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 5回投げて、1の目が1回も出なかったとすれば、次に投げると必ず1の目が出る。

イ 6回投げるとき、そのうち1回しか1の目は出ない。

ウ 60回投げるとき、そのうち10回は必ず1の目が出る。

エ 6000回投げるとき、1000回ぐらい1の目が出る。

2. 大小2つのさいころを同時に投げるとき、2つのさいころの である確率は $\frac{1}{12}$ である。この にあてはまることからはいろいろと考えられる。

次の【例】を参考にして にあてはまることからは1つ書きなさい。

【例】2つのさいころの 出る目の数の和が10 である確率は $\frac{1}{12}$ である。

[島根]

1. エ

2.

	1	2	3	4	5	6
1	0	0				
2	0					
3						
4						
5						
6						

(例) 出る目の数の和が3以下

